

【科目名】 インターンシップⅡ				【単位数】 1 単位		【科目区分】 キャリア教育科目	
【担当者】 大森 史博 OHMORI Fumihiro		【オフィス・アワー】 時間:別途提示する 場所:613 研究室				【授業の方法】 実習・演習	
【科目の概要】 この科目は、3年次以上の学生を対象として、企業や団体等が実施するインターンシップ(30 時間以上の実習)に参加した者に単位を認定するものです。「インターンシップを機会とした企業研究や自己分析を実践的に就職活動に生かしていくこと」、「授業で学んできた知見を就職活動や今後のキャリア形成に生かしていくこと」、について深く考えることを目的としています。受講生の皆さんは、「インターン先で経験したいことは何か?」、「インターンの経験のなかで何を学んだか?」、「自分自身の仕事や業界の適性は?」、「今後の大学生活で修得すべきものは何か?」等について、事前レポート、事後レポートを作成することから、自らの経験を振り返り、キャリア形成の展望を広げてもらうことを企図しています。							
【「授業科目群」・他の科目との関連付け】・【なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか】 この科目は、これまで学んできた授業科目の知識を基礎としながらも、仕事や社会という広く開かれた自己と他者の関係について、再考する機会となるものです。専門分野で学んできた経営、経済の事柄をはじめ、学生生活をとおして培ってきた諸々の知識をもとに、インターンシップに臨む計画を入念に設計し、就業先での経験を振り返ります。これまで学び、身につけてきた知識について再確認することをおこなう一方、我々を取り巻く環境の動向、自身のキャリア形成について今後どうすべきか、を熟考してもらいます。							
【科目の到達目標】 ・インターンシップ先で何を学んだのか、その内容は何かを説明できる。 ・自分自身の特徴を理解し、適性のある業界や職種を明示することができる。 ・これからの学生生活の中で修得すべきもの、これからの課題について言表することができる。							
【ディプロマ・ポリシー (DP) との関係】							
学部				学科			
DP1 ○	DP2 ○	DP3 ○	DP4 ○	DP1	DP2	DP3	
【学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫】 とくになし。							
【教科書】 使用しない。							
【指定図書】 とくに指定しない。							
【参考書】 『働くことの哲学』ラース・スヴェンセン著、小須田健訳、紀伊国屋書店、2020 年 『誰のための仕事 労働 VS 余暇を超えて』鷺田清一著、講談社学術文庫、2021 年							
【前提科目】 該当なし。							
【学修の課題、評価の方法】(テスト、レポート等) 提出の事前レポート、事後レポート、および勤務評価書の内容をもとに、総合的に判断します。 この科目で修得する単位は、卒業要件に算入されますが、GPA には算入されない形での認定となります。							

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 インターンシップの貴重な経験を振り返り、熟考することで、その経験の意味を再確認し、実践的に就職活動に生かしていくことを期待しています。	
〔実務経歴〕 該当なし。	
授 業 スケ ジ ュ ー ル	
第 1 回	テーマ(何を学ぶか):事前レポート提出 内 容: 教科書・指定図書
第 2 回	テーマ(何を学ぶか):実習 内 容: 教科書・指定図書
第 3 回	テーマ(何を学ぶか):事後レポート提出 内 容: 教科書・指定図書
第 4 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教科書・指定図書
第 5 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教科書・指定図書
第 6 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教科書・指定図書
第 7 回	テーマ(何を学ぶか): 内 容: 教科書・指定図書
試 験	実施しない。